

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和7年4月10日(2025.4.10)

【国際公開番号】WO2024/089772

【出願番号】特願2024-552557(P2024-552557)

【国際特許分類】

G 0 6 N 2 0 / 0 0 ( 2 0 1 9 . 0 1 )

【 F I 】

G 0 6 N 2 0 / 0 0 1 3 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月28日(2025.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

複数の教師データを機械学習モデルに入力した際の各教師データに対する骨格情報の推論結果であって、骨格の各部位の誤差を含む前記推論結果を取得し、

前記推論結果を基にして、前記複数の教師データから、第1部位の誤差が他の教師データの第1部位の誤差よりも大きい第1教師データを特定し、

前記推論結果を基にして、前記複数の教師データから第2部位の誤差が他の教師データの第2部位の誤差よりも大きい第2教師データを特定し、

前記第1教師データに含まれる第2部位に関する情報を、前記第2教師データに含まれる第2部位に関する情報に置換することで、第3教師データを生成する

処理をコンピュータに実行させることを特徴とするデータ生成プログラム。

【請求項2】

30

前記第2教師データに含まれる第1部位に関する情報を、前記第1教師データに含まれる第1部位に関する情報に置換することで、第4教師データを生成する処理を更にコンピュータに実行させることを特徴とする請求項1に記載のデータ生成プログラム。

【請求項3】

前記第3教師データを基にして、前記機械学習モデルの機械学習を実行する処理を更にコンピュータに実行させることを特徴とする請求項1に記載のデータ生成プログラム。

【請求項4】

前記第3教師データに含まれる前記第1部位および前記第2部位からなる骨格が尤もらしいか否かを判定する処理を更にコンピュータに実行させ、前記機械学習を実行する処理は、前記第1部位および前記第2部位からなる骨格が尤もらしい場合に、前記第3教師データを基にして、前記機械学習モデルの機械学習を実行することを特徴とする請求項3に記載のデータ生成プログラム。

40

【請求項5】

複数の教師データを機械学習モデルに入力した際の各教師データに対する骨格情報の推論結果であって、骨格の各部位の誤差を含む前記推論結果を取得し、

前記推論結果を基にして、前記複数の教師データから、第1部位の誤差が他の教師データの第1部位の誤差よりも大きい第1教師データを特定し、

前記推論結果を基にして、前記複数の教師データから第2部位の誤差が他の教師データの第2部位の誤差よりも大きい第2教師データを特定し、

前記第1教師データに含まれる第2部位に関する情報を、前記第2教師データに含まれ

50

る第2部位に関する情報に置換することで、第3教師データを生成する  
処理をコンピュータが実行することを特徴とするデータ生成方法。

【請求項6】

複数の教師データを機械学習モデルに入力した際の各教師データに対する骨格情報の推  
論結果であって、骨格の各部位の誤差を含む前記推論結果を取得し、

前記推論結果を基にして、前記複数の教師データから、第1部位の誤差が他の教師デー  
タの第1部位の誤差よりも大きい第1教師データを特定し、

前記推論結果を基にして、前記複数の教師データから第2部位の誤差が他の教師デー  
タの第2部位の誤差よりも大きい第2教師データを特定し、

前記第1教師データに含まれる第2部位に関する情報を、前記第2教師データに含まれ  
る第2部位に関する情報に置換することで、第3教師データを生成する

処理を実行する制御部を有するデータ生成装置。

10

20

30

40

50